

## ぱりぱりハング語 第4回

### カガとカ까とカ카

みなさんこんにちは。「ぱりぱりハング語」はみなさんをやさしい韓国語の世界へおつれします。

きょうはカ行の文字についてまなびましょう。日本語でカのおととしては、カとガの区別がありますね。ハング語では가と까と카の、3つの区別があります。え、ききとれない？でも安心。いまから説明いたします。

1つめのふつうのカ行の文字は、右上がカギになった横・縦の連続線であらわします。カタカナの「フ」のようなかたちをしています。アをつけて発音すると、가 가 가、カカカ。くちのまえにかみをたらすとすこしゆれます。息がすこしでているのです。この発音を平音といいます。すこしあとで説明を追加します。

2つめは、濃音といわれるもので、いまいった文字が2つよこにならんでいます。これはつまったおとで発音する文字です。アをつけていうと、까 까 까、ツカツカツカ、のように小さいッをまえにつけたように発音します。日本語では「いっかい」「サッカー」のように語の途中にあらわれますが、韓国語では語のはじ

めにもでてきます。これは息のでないおとなので、紙をくちのまえにたらして「ツカ」といっても紙がゆれてはいけません。

3つめは、激音といわれる、激しく息がでるカです。カハッというように、紙をくちのまえにたらしたら、はげしく紙がゆれなくてはなりません。はしたあとハアハアいう息でいったら発音できます。카 카 카、カカカ。文字は平音に一面追加したかたちをしています。

さて、1番目平音には、かわったくせがあります。それは「語の途中にあるときはにごる」ということなので、つまり가가と同じ文字でかいてあっても、かならずカガと読まれます。기기와かけば키기와よまれるのです。ですから、むかしの加賀の国は、가가カカとかけばOKなのです。

逆に、語の最初のおとは絶対にごりません。ガカと発音してほしいのに、文字はカカとかくしかありません。しかしそうかけば、規則どおりかならずカガと読まれるのです。日本語のような清音と濁音の区別はないのです。これがハング語の音の特徴です。

「ハングルは世界一すばらしい文字で、世界のすべての音が表記できる」と自慢げにかたる人もいます

が、いまの例で、これがまちがいだとわかったとおもいます。もちろん、ハングルがハング語を表記するのにふさわしい文字だということには異論がありません。

なお、濃音と激音は、絶対にありません。

以上のカ系統の子音と、いままでに学んだア行・ヤ行をくみあわせると、実にたくさんの文字がつかれます。実際に使われない文字も作れるのですよ。すごいでしょ？

日本語の五十音にしたがって文字作りのけいこをしてみましょう。

①最初は平音です。

カ・キ・ク・ク・ケ・ケ・コ・コ  
キャ・キュ・キェ・キェ・キョ・キョ  
가 기 구 그 게 개 고 거  
가 규 계 개 교 겨

②次に濃音です。

ツカ・ツキ・ツク・ツク・ツケ・ツケ・ツコ・ツコ  
ツキャ・ツキュ・ツキェ・ツキェ・ツキョ・ツキョ  
까 끼 꾸 그 게 개 교 겨  
까 규 계 개 교 겨

③次に激音です。

カ・キ・ク・ク・ケ・ケ・コ・コ  
キャ・キュ・キェ・キェ・キョ・キョ  
카 키 쿠 크 케 캐 코 커  
카 규 계 캐 교 겨

では単語の練習です。ハングルで書いてみましょう。

- 1 古代朝鮮にあった国のなまえ「伽耶」とかいてみましょう。カヤ・カヤ・カヤ。가야・가야・가야.
- 2 ココアを飲みたくなりました。激音です。ココア・ココア・ココア。코코아・코코아・코코아.
- 3 ケーキは「ケイク」と発音されます。激音ですよ。ケイク・ケイク・ケイク。케이크・케이크・케이크.
- 4 「ちょっと前」のことを「アッカ」といいます。濃音です。アッカ・アッカ・アッカ。아까・아까・아까.
- 5 「行きます」は「カヨ」。ではかいてください。カヨ・カヨ・カヨ。가요・가요・가요。「行く?」ときかれたらすかさず「カヨ」。もし名前が佳代だったら「佳代、カヨ?」가요, 가요?

復習。カには3つの文字がある。카가・카까・카카。

きょうはこれでおしまいです。ではまた次回。안녕히 계세요。  
안녕히 계세요.

© 国際言語研究所 提供  
Radio Ĉerizo Internacia

\*このページ用の紙サイズはA5です。